

## 不活化ポリオワクチンについて

尼崎医療生活協同組合 本田診療所 森 敬良

1. このワクチンは「ポリオ（急性灰白髄炎、小児麻痺）」の予防のためにワクチンです。現在、日本の定期接種で使われているワクチンとは違い、厚生労働省の認可は受けていません。しかし、欧米などの先進国では広く一般的に使われているものです。
2. このワクチンは不活化（病原体の活性をなくしている）しているため、定期接種で行われているワクチン（経口投与、生ワクチン、病原体を弱毒化している）と違い、ワクチン関連の麻痺（ワクチンによるポリオの発症など）が起こりません。
3. 接種方法は皮下もしくは筋肉注射です。スケジュールは、初回接種後、4～8週後に2回目、さらにその4～8週後に3回目、4～6歳で追加でもう1回の合計4回打ちます（米国でも同様の接種です。3回目が4歳以上であれば、4回目は省略します）。
4. 経口ポリオワクチンを1回（もしくは2回）接種されている場合は、不活化ポリオワクチンと合わせて合計4回接種をおすすめしています。
5. 1975年から1977年までに出生された方は、ポリオの免疫が低いことが分かっています。3回の不活化ポリオワクチン接種をおすすめしています。（1回目、1ヵ月後に2回目、その半年後に3回目ですが、海外などへ行かれる場合で時間がないときは1ヶ月ごとに3回うつこともあります）。
6. ワクチン接種後に、注射部位のはれ、痛み、赤くなったり熱をもったりすることがあります。これらの症状はほとんどの場合、自然におさまることが多いです。
7. このワクチンは輸入品ですが、入院が必要となるような強い副反応が起こった場合には、通常の任意接種と同等の救済措置を受けることができます（輸入ワクチン被害救済保証制度）。
8. このワクチンの値段は組合員の場合は4950円（税込み）、組合員でなければ6500円（税込み）です。

2011年1月8日